



# あもにい

## 幸町記念病院 院長 宮崎 雅史先生を偲んで

理事長 重井 文博

昨年の11月22日、医療法人三祥会が創和会グループの一員になることが正式に決まったことを、職員の皆さんにお伝えするために、私は幸町記念病院に向かいました。緊張して到着した私を、宮崎先生は笑顔で出迎えてくださり、控室に通していただきました。

控室で先生から、個人病院であった幸町記念病院を、医療法人化するにあたり、法人名をどうするか大変悩んだエピソードをお聞かせいただきました。「複数の候補に絞り込み、職員に意見を求めたところ、一番賛同を集めたのが三祥会でした。実は、私自身も三祥会が一番気に入った名前でした、その三祥会には「患者・家族・病院職員」の3者の祥（さいわい）を目指す想いを込めているのです。」と嬉しそうにお話されました。

今振り返ると、ご自身の後継者に悩み、創和会に運営の責任を任せたいとお話をいただいた当初から、一貫して先生は患者さん・ご家族や職員に迷惑が掛からないことを、一番に考えていらっしゃいました。まさに、「慢性腎不全医療を通して、患者・家族ならびに病院職員の幸福の増進に永続的に貢献する」理念を体現されていると思いました。

職員の皆さんが集まる会議室では、先生からこれまでの経緯を報告いただき、その後に私が挨拶



▲2022年11月22日、職員の皆さんに向けての説明会を宮崎先生と共に開催

をしました。職員の皆さんは大変温かく迎えてくれ、宮崎先生のファミリーであることを感じました。

グループ化に伴う契約書には、先生のご希望から、2年後には院長を退任することが定められていました。しかし私たちは、宮崎先生が院長の役割を退任されたとしても、お元気な限り名誉院長としてご指導いただく心づもりでおりました。今年5月に体調を崩され入院した報を耳にした際も「どうか戻ってきてください」の一念でおりました。コロナが落ち着いたら、宮崎先生と先生の大切な職員の皆さんと忘年会を行うことを楽しみにしていました。残念です。

先生亡き後も、これまで先生が大切に考えてこられた理念を念頭に、幸町記念病院らしさを守っていきたいと考えております。

宮崎先生、どうか今後も天国で私どもをお守りください。

幸町記念病院院長の宮崎雅史先生におかれましては、本年5月頃から病氣療養を続けておられましたが、薬石効なく、8月3日に享年71歳で逝去されました。

心から哀悼の意を表します。

# うらじゃ 2023 「動」

温羅★重井連 運営スタッフ一同

8月20日、岡山駅周辺にて第28回うらじゃ2023 ころ晴れ晴れおかやま魂「動」が開催されました。今年は、去年までのコロナの影響を受けて、実に4年ぶりの「温羅★重井連」出動となり、研究所附属病院新入職員を中心に踊り子36名、マネージャースタッフ7名、計43名で参加しました。

当日は、例年よりも増した酷暑の中、マネージャースタッフの支えもあり、1人も欠けずに最後まで踊り切ることができました。今年の演舞のポイントは、間奏部分に職種紹介を挟んだことです。病院スタッフのみでうらじゃ連を結成している連は当院のみであり、重井連ならではのアイデアに演舞場スタッフの方からも好評で、得策だったと大満悦でした。

3年にわたるコロナ禍で若手スタッフの院内の

コミュニケーションが希薄となっていた中、うらじゃ参加は職員同士の久しぶりの交流の機会となりました。

久しぶりの参加だったので、特に初めて参加する方々に楽しんでもらえるか不安もありましたが、当日は本来の笑顔を目の当たりにし、最後まで活気溢れる声を聞かせて貰えたことが、運営スタッフ一同大変嬉しく思いました。

最後に、応援してくださった方、練習のために勤務を配慮してくれた各部署長、準備から当日に至るまでにご協力いただいた皆さまに心より感謝いたします。来年もパワーアップして参加したいと思いますので、一緒に楽しみたい方がおられましたら、ぜひぜひお待ちしております！今後とも「温羅★重井連」をどうぞよろしくお願いいたします。





## マルチスライス CT 装置と 画像処理ワークステーションを更新しました

研究所附属病院 放射線部 副技師長 丸尾 憲一

7月31日（月）よりキャノン社製 CT 装置「Aquilion Exceed LB」に更新し稼働を開始いたしました。

この度更新した「Aquilion Exceed LB」は、前の装置に比べて検出器が 16 列から 80 列に、最小スライス厚が 0.625mm から 0.500mm に、撮影範囲が 1,650mm から 2,000mm になり、より速く、より高精細な画像が全身領域で撮影することができるようになりました。

被ばくに関しても以前より行われている被ばく低減の逐次近似（ちくじきんじ）という方法からより進化して、AiCE（エース）という技術が搭載されています。AiCE とは AI 技術である Deep Learning を駆使したもので、教師画像（お手本となる画像）というものがあり、低線量であってもその教師画像に近づけるために演算を繰り返し行うもので、最新の被ばく低減技術となっています。

画像処理ワークステーション、キャノン社製「Vitrea（ビトリア）」が更新され従来の 3D や MPR の処理に加え、CT デンタルというアプリが搭載され、以前から要望があったデンタルの処理が可能になりました。

「Aquilion Exceed LB」の LB は large bore の略で開口径が 700mm から 900mm になり挙上の際に自由度があり、また寝台も左右に 85mm 動くため、患者さんの体位に合わせた正確な位置決めが可能になり、患者さんに負担をかけずに安

心して撮影を行うことができます。

また以前の CT ではできなかった MWM サーバー（電子カルテと CT 装置をつなぐもの）とも接続され患者さんの情報が直接取得でき、画像転送の速度も向上しました。CT 室も改装され、部屋が明るく広くなり、更衣室もあり、大きな引き戸も付いて入り口が広くなりました。また感染症の患者さんを撮影した際に必要な送風量を確保した換気扇も設置しました。

今回の CT 装置更新に伴い、装置はもちろん、ワークステーション・CT 室・ネットワークを新たに構築した新生 CT 検査室になりました。これらの相乗効果により得られるメリットをじゅうぶん活かし、患者さんに安心して楽に早く検査をしていただき、より良い画像をお届けしたいと思います。



▲新しくなったマルチスライス CT 装置



# この人紹介 !!

しげい病院 診療部門 内科医長  
澤木 了先生をご紹介します！



## 今までどのようなことをされてきたのですか？

重力波はご存じでしょうか？最初の大学では、東京の理学部物理学科坪野研で、重力波検出のための前段階の実験や JAXA との共同実験に参加していました。卒業後は川崎医科大学に入学し、その後倉敷中央病院で9年勤務しました。内科医 (Physician) です。物理学者 (Physicist) と少し英語が似ています。

## 休日の過ごし方を教えてください。

キナバル山は、マレーシアの最高峰です。平成31年の冬に登りました。

1日目、日本出発の朝、ダイヤモンドを内服開始。マレーシア航空を使います。関西空港からクアラルンプールまでは A350-900 で6時間。さらに乗り継いでコタキナバルまで2時間です。

2日目、朝早くに出発。キナバル山の麓は、一年中気温 30 度の熱帯雨林で、一帯が世界自然遺産になっています。乾期が昇りやすいですが、それでもスコールがあります。何度も休憩しながら、ひたすら登ります。休憩していると、リスや鳥がやってきます。午後3時、山小屋ペンダントハット到着。標高 3,289m です。ここで一泊します。レストハウスのかぼちゃのスープがおいしいです。翌日に備えて早く寝ます。



3日目、朝食を食べて、朝2時半に出発。肌寒いです。ヘッドライトで足元を照らしながら登ります。山小屋サヤサヤハット、標高 3,668m を通過します。森林限界を越えて、ここからは岩盤が続きます。

傾いているスラブ様の斜面を登り、午前5時38分、標高 4,095m、登頂です。周りは真っ暗です。頂上から 20m 程度下がったところが広がっていて、そこで夜明けを待ちます。明るくなると、雲の下に山の麓や遥か遠くが見渡せます。美しい景色を堪能して6時過ぎ、下山開始。ヴィアフェラータに寄り道します。

下りは、膝関節を酷使しながら一気に下りていきます。麓では色鮮やかな熱帯の植物が迎えてくれます。とても楽しい山です。



さて、今は1歳の娘がいます。倉敷中央病院の小児リハに月3回通っています。家でもいろいろ頑張っています。膝の上のノートパソコンでこの原稿を書いていると、ディスプレイを閉じようとしたり、袖を引っ張ったりしてきます。「ほー」といながら、キーボードに手を伸ばしてきます。あっ… cfddfffffpds ; あ [y Y : .] . ^ et : ] ¥ > TTTTTTT TTTTTT : [ @ t ^ え ] し ; ! ^ 胃 0 6 ・ ¥ : ・ v 6 . ¥ ^ 5 …娘からのメッセージのようです。得意げに見上げてきます。



## 最後に、しげい病院での抱負について教えてください。

頑張ります。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いします。

# 2023 年度事故想定訓練

## ～テーマは「マスター負荷心電図施行中の急変に伴う ドクターコールの運用と転院までの流れ」～

しげい病院 医療安全管理室 課長 粉木 かよ子

昨年度に計画していた事故想定訓練・動画研修でしたが、COVID-19の感染対応等のため実施が延期となっていました。6月27日(火)に「マスター負荷心電図施行中の急変に伴うドクターコールの運用と転院までの流れ」をテーマに、検査健診部・外来看護師を中心に事故想定訓練実施と研修用の動画撮影を行いました。

今回の事故想定訓練は、「急変時対応」と院内で運用している「ドクターコール99番」の運用の実際の流れを理解し、全職員が「ドクターコール」に対応できることを目的としています。

今回初の試みとして動画撮影のための絵コンテをリスク部会メンバーが作成したことにより、訓練内容のイメージがつかみやすく、撮影が予定した時間よりスムーズに行うことができました。(絵

コンテのクオリティが素晴らしく、リスク部会メンバーの意外な一面の発見もありました。)

また、撮影に急遽快く参加くださった職員もおられ、担当以外の職員のご協力に感謝いたします。

医療安全は、個人のインシデントや事故対応に終始せず、大きな視点で捉え、組織全体で一歩一歩前進することが重要です。事故想定訓練は11回目となり、ここ数年は動画研修の形態となっていますが、根底には医療安全体制を確立し、適正かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図る目的は変わりません。

今後も医療安全文化定着にご協力をよろしくお願ひします。

絵コンテが  
素晴らしくて  
ビックリ!!

### 動画撮影の裏側を公開!

マスター負荷心電図の時から

皆さん呼んでください。  
検査技師A:「重井さん、重井太郎さん、検査室にお入りください。」  
重井太郎:「はい。」

椅子からゆっくり立ち上がり検査室に入ってくる。  
→重井氏が検査室内に着く

検査技師A:「重井さん、お名前と生年月日を確認させてください。」  
重井太郎:「重井太郎、昭和42年1月1日です。」  
検査技師A:「では、まず心電図をとりますのでベッドに仰向けに寝てください。」

→重井氏はベッドに仰向けに寝て、シャツをまくり上げる。  
→検査技師は四肢、胸部を清拭し、電極を着ける。

検査技師A:「ちよつと冷たいですよ。」

→安静時心電図を記録すると、心房細動の波形である。

検査技師A:「Bさん、重井さんの心電図、心房細動です。」  
検査技師B:「初診の患者さんだから、循環器の先生に報告が必要ですね、その時、念のため負荷が可能かどうか聞きましょう。」

ナレーション

今回初診であるため、循環器の医師に心房細動の報告をし、マスター負荷の指示が出ていることを伝えました。医師からは心電図は禁忌でないため負荷は継続だとの指示がありました。

検査技師A:「これから階段の上り下り運動をしてもらいます。」  
重井太郎:「この階段を上がり下りたりすりやないんじやない。」  
検査技師A:「運動は3分間ですので、なるべく心電計から聞こえる音に合わせて階段を上り下りしてくださいね。」  
重井太郎:「わかった、わかった。」  
検査技師A:「では、始めてください。」

→負荷を始める。心電計からの電子音が聞こえてくる。2分程度検査を行うと。

検査技師B:「2分経過しました。胸に違和感はありませんか?」

→患者は、階段昇降をしている。階段昇降のスピードは心電計からの電子音には一致せず、ふらつき、もうろうとしている。今にも転びそう。患者は胸に手を当てている。

重井太郎:「うーん、何か胸が...うらつ。」



# 重井医学研究所&はぁもにい倉敷共催 目指せ！未来の研究者！ サイエンスツアーを開催しました！



しげい病院 通所・訪問リハビリテーション部 主任 立川 真也  
創和会本部 経営管理部兼務

7月22日（土）、重井医学研究所で実験体験と施設見学を中心としたサイエンスツアーを開催しました。講師は研究所の松山部長と北村研究助手。「子供たちが科学に興味を持ち、好きになってもらいたい。」という思いから今回のイベントを企画しました。

今回の対象者は、はぁもにい倉敷受講中の創和会職員のお子さんでした。年長さんから小学3年生まで親子4組が参加してくれました。

実験内容は「たまねぎからDNAを取り出そう！」。事前に持ってくるものとして「たまねぎ」があり、参加者の皆さんはどんなことをするのか期待に胸を膨らませて来られていました。

実験中は親子で協力して作業されている姿がとても印象的でした。DNAが取り出せた瞬間には「何これ？すごい！」と子供たち、「これがDNAですか？」と大人も初めてみるDNAに驚かれて

いました。またネズミの尿から、健全なネズミと病気のネズミを見分ける実験も行いました。これもとても盛り上がりました。

施設内見学では、がん細胞を顕微鏡で観察したり、PCR検査の機器などを見学したりと、初めてみる光景に皆さん目がキラキラしていました。

質問コーナーで、保護者から「理科が好きなお子さんを育てるには？」という質問がありました。松山部長は「親が子供に対してできること。それは親が子供と一緒に（理科を）体験・勉強していくことが一番。」とおっしゃっていました。

今回、参加者の皆さんに「子供だけではなく親子揃って楽しめました。」という感想をいただきました。今後も、創和会グループとしていろいろな企画を計画していく予定です。イベント開催時には、ぜひ参加を検討していただけたらと思います。



## 2023年 秋冬期新規講座のご紹介

はあもにい倉敷 カルチャーチーム チーフ 浅田 瑞恵

2023年秋冬期の新規講座のご紹介をします。

来期は、久しぶりに韓国語の講座を始めます。初めて学習するレベルの「初級Ⅰ」より開催します。優しい韓国人講師から“生きた韓国語”を学びましょう。

音楽の講座も新しくスタートします♪

「たのしいピアノレッスン」では、ピアノの個人レッスンをします。それぞれのレベル、希望に合わせて行います。久しぶりに弾く方も気軽に始められます。

「発声法を学ぼう～歌って身体使ってリフレッシュ～」では、発声によって心身のリフレッシュを目的としています。正しく無理のない発声法を学び、日本の四季をきれいに歌ってみましょう。

また、相続についてゲーム感覚で学ぶ「相続ゲーム」「生前整理のプロが伝授！役に立つ防災術」「スマホ教室」では役に立つ情報を学ぶことができます。ご興味があるものをお選びください。

さらに、現在満員となっている「アコースティックギター」「和装着付け」「キッズチアダンス」は、クラスを増設します。今まで入りたくても入れなかった方は、ぜひこの機会にどうぞ。

来期も盛りだくさんの講座をご用意してお待ちしております。詳しい内容はホームページからご覧ください！



はあもにい倉敷  
HP



▲リボン刺繍



▲ピラティス



▲マクラメ編み



▲相続ゲームの様子



▲足もみセルフケア



▲墨アート・筆文字

はあもにい倉敷は医療法人創和会グループの健康増進施設です。

## 催し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「ジュズダマで幼心を楽しむ」

日時：9月30日（土）

10：00～12：00

会場：重井薬用植物園

## 編集後記

●8月8日は「笑いの日」だそうです。1994年（平成6年）に「ハッハ」という笑い声と「88」の語呂合わせによって決められた記念日だそうです。ロシア軍によるウクライナ侵攻、地球温暖化による異常気象と豪雨や自然発火による大規模火災など、笑顔を保ちにくい事が毎日のおきています。しかし一方では、コロナ禍で中止されていたお祭りや花火大会が4年ぶりに開催されたりと、人々に笑顔と笑い声が戻りつつあります。笑う動物は、ヒト、チンパンジー、ゴリラなど類人猿だけだといわれているようです。しかし、ペットなどを飼育している方々は、動物の喜怒哀楽は心が通じ合っているためか笑い声がしなくてもわかりますよね。人を笑顔にするためには自分も笑顔でいることが大切です。心からの笑顔と笑いが世界中の人々に拡散され埋め尽くすように！  
(SH)

●今年各地で夏祭りが無事に開催されているみたいで、活気があっていいですね。私も今年は久しぶりに花火を見に行こうと思い、計画を立てているところです。浴衣を買ってみたのですが、最後に着たのが高校生の時だったのを思い出して、懐かしさとともに年も感じています。今は花火を観覧するスペースも駐車場も有料になっているところが多いので、人混みが苦手な私にはありがたいなと思っています。今までなかなか行こうと思わなかったのですが、いざ行くと決めると小物を揃えてみたり、YouTubeで着付けの動画を見てみたりと、とても楽しみにしている自分がいることに気づきます。編集後記を書いている今、台風が接近していて開催が危ぶまれますが、無事開催されることを祈っています。  
(KM)

## 「暗黙のルールについて」

ジャパン EAP システムズ EAP 相談室

### ■職場の「見えないルール」

職場では異なる年齢、価値観、経験を持つ人々が一緒に働いています。そこでは「役職に関わらず“～さん”で呼ぶ」「仕事中は私語厳禁」「昼休憩は先輩社員の後で」など自然と暗黙のルールができてきます。

新人や異動者が「見えないルール」に接すると戸惑いつつも、説明されなくとも周囲と同じ行動を取ろうとします。これを同調行動と言います。周囲の行動を観察して「社長も“～さん”で呼ぶ」「お昼は一緒に食べる」と行動を決めていくのです。同調行動により見えないルールは維持されます。

### ■行き過ぎた同調には注意を

暗黙のルールに従い、周囲に合わせて行動することは協調性が高いとも言えます。同調行動の背景には、人は他者から好かれたい（拒否されたくない）心理があり、ルールを守ることによって心理的な安定を得ることがあります。

しかし、業務時間内は「私語厳禁」でも「息抜きに、雑談したい」と感じていると、気持ちと行動にギャップが生じ息苦しさを覚えます。表面上は上手く適応しているように見えても、行き過ぎた同調行動は気づかぬストレスとなり心身に影響及ぼすこともあります。

### ■そのルールは何のため？

もしあなたがそうした息苦しさを感じたら、そのルールを見直してみよう。同じように振る舞っていても、本当に納得しているのか、同じように理解しているとは限りません。このルールは何のため？と確認してみよう。

「昼食を一緒に食べる」のは効率的だから…親睦を深めるため…、理由がわかると改めて納得するかもしれません。ただ、一緒に食事をして仕事の話ばかり（気が休まらない）とか、皆無言で食べている（誰か話せ!）ならば、リフレッシュのために個々で食べる日を設けてもよいでしょう。

もしこうした意見を言い出しにくい雰囲気ならば、管理者の出番といえるでしょう。

特に4月など、組織が新しくなるときは、普段意識しない「見えないルール」を確認するチャンスです。戸惑っている新しい人を見かけたら、「この職場ではこういう理由で〇〇するんだよ」と、積極的に伝えてみましょう。ルールは明文化されると納得も得られやすいでしょう。「それって変じゃないですか？」と反応が返ってきたら、押し付けるのではなく一度受け止めて、ルール自体を見直してもよいでしょう。



※医療法人創和会は職員の心の相談窓口として、ジャパン EAP システムズと契約しています。相談はお気軽に、電話やメールで。



生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

しげい病院

〒710-0051 倉敷市幸町2-30  
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所  
〒710-0202 岡山市南区山田2117  
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

重井医学研究所附属病院

〒707-0202 岡山市南区山田2117  
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所  
〒710-0051 倉敷市幸町2-30  
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

重井薬用植物園

〒710-0007 倉敷市浅原20  
TEL086(423)2396

重井医学研究所

〒707-0202 岡山市南区山田2117  
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30  
TEL086(422)8207